

# 受入事例の紹介

福祉のしごととインターンシップ



## もくじ

- 高齢者福祉施設のプログラム事例 . . . 1
- 障害者・障害児施設のプログラム事例 . . . 2
- 児童関連施設のプログラム事例 . . . 3
- 受入にあたり工夫したこと、重視したこと . . . 4
- 受入施設・事業所が感じた今後の課題 . . . 5
- インターンシップを終えた学生の感想 . . . 6
- 令和4年度 学生のアンケート . . . 7

# 【 高齢者福祉施設 】

|     | 午 前   | 午 後   |
|-----|---|---|
| 1日目 | 10:00～12:00<br>オリエンテーション<br>施設・事業所の概要、職員（職種）の紹介や<br>利用者の紹介、顔合わせ など    | 13:00～15:30<br>レクリエーション参加、リハビリ参加、<br>利用者と団らん<br>15:30～16:00<br>1日の振り返り、ミーティング |
| 2日目 | 10:00～11:30<br>利用者支援（入浴の着脱、身だしなみの整えなど）<br>11:30～12:30<br>昼食準備、配茶、後片付け | 13:30～14:30<br>レクリエーション参加、利用者と団らん<br>14:30～16:00<br>先輩職員（若手職員）と交流             |
| 3日目 | 10:00～11:30<br>利用者支援（排泄・移乗・移動介助の見学など）<br>11:30～12:30<br>昼食準備、配茶、後片付け  | 13:30～14:30<br>レクリエーション参加、利用者と団らん<br>14:30～16:00<br>管理職員と意見交換、インターンシップ全体の振り返り |

# 【 障害者・障害児福祉施設 】

|     | 午 前  | 午 後   |
|-----|--|---|
| 1日目 | 10:00～12:00<br>オリエンテーション<br>施設・事業所の概要、職員（職種）の紹介や<br>利用者の紹介、顔合わせ など                   | 13:00～15:30<br>作業体験、創作活動など利用者と一緒に作業、<br>利用者と団らん<br>15:30～16:00<br>1日の振り返り、ミーティング        |
| 2日目 | 10:00～11:30<br>作業体験、創作活動など利用者と一緒に作業、<br>利用者と団らん<br>11:30～12:30<br>昼食準備、後片付け（利用者と一緒に） | 13:30～14:30<br>レクリエーションやクラブ活動参加、利用者と団らん<br>14:30～16:00<br>先輩職員（若手職員）と交流                 |
| 3日目 | 10:00～12:00<br>販売活動等施設外活動に同行または、<br>利用者とのコミュニケーション（創作活動や<br>レクリエーション等）               | 13:30～14:30<br>レクリエーションやクラブ活動参加、利用者と団らん<br>14:30～16:00<br>管理職員と意見交換、<br>インターンシップ全体の振り返り |

# 【 児童関連施設 】

|     | 午 前  | 午 後  |
|-----|--|--|
| 1日目 | 10:00～12:00<br>オリエンテーション<br>施設の概要、職員（職種）の紹介や子どもの紹介、<br>顔合わせ など     | 13:00～15:30<br>子どもとのふれあい、保育補助、学習支援<br>15:30～16:00<br>1日の振り返り、ミーティング                |
| 2日目 | 10:00～11:30<br>子どもとのふれあい、保育補助<br>11:30～12:30<br>昼食準備、後片付け（子どもと一緒に） | 13:30～14:30<br>子どもとのふれあい、保育補助、学習支援<br>14:30～16:00<br>先輩職員（若手職員）と交流                 |
| 3日目 | 10:00～11:30<br>子どもとのふれあい、保育補助<br>11:30～12:30<br>昼食準備、後片付け（子どもと一緒に） | 13:30～14:30<br>子どもとのふれあい、保育補助、学習支援<br>14:30～16:00<br>管理職員と意見交換、<br>インターンシップ全体の振り返り |

## 受入にあたり工夫したこと、重視したことなど

- ◇ インターンシップで知りたいこと、興味のあること、不安なこと等を事前面談をして確認した。
- ◇ 利用者・利用児童とのかかわり、交流を多くするようにした。
- ◇ コミュニケーションに不安がある場合は、一緒に作業や活動をしながらか慣れてもらうようにした。
- ◇ 利用者の特性（認知症、障害特性、子どもの発達状況など）をオリエンテーションで説明した。
- ◇ インターンシップ中の担当職員を配置し、何でも聞ける、相談できる体制をつくった。
- ◇ 毎日反省会を実施し、その日あったことや困ったことなどを話してもらい、その日のうちに問題を解決できるよう対応した。

## 受入施設・事業所が感じた今後の課題

どこまで体験していただくか、について。

学生への感想や今後の課題などの聞き取り、施設へのフィードバックができる仕組みの構築。

コロナの対応は継続するため、体験する前には本人と家族の体調等を教えてもらいたい。

施設利用者の特性について、今まで以上によく説明することが必要と感じるとともに、対人援助に不安、緊張が強い方については、クールダウンする場所や対応するスタッフをよく知らせる必要がある。

# インターンシップを終えた学生の感想（抜粋）

認知症高齢者との関わり方について大事なことを学ぶことができたので、次の現場でも自分自身に足りないものを見つけていきたい！

利用者との接し方や自分自身の行動の一つ一つに責任を持つことの大切さや利用者が安心安全に施設内で生活できる環境を作ることも大切だと知りました！

利用者の方々に「また来て欲しい」と言われ、ここにインターンシップに来て良かったと感じた！

インターンシップでの貴重な体験が進路選択に大いに役立ちました！

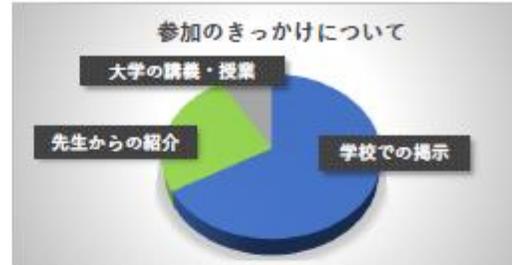
人を支援していく中で、自分も楽しむこと、自分も幸せに感じることに、自分も悲しんだり辛いと思うことが大切なことなのではないかと思いました！



# 令和4年度 学生のアンケート（抜粋）

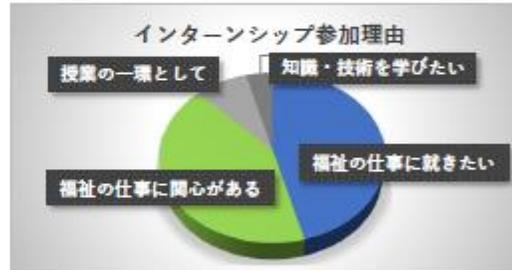
## Q1「福祉のしごとインターンシップ」を知ったきっかけ

|          |        |
|----------|--------|
| 学校での掲示   | 16 (人) |
| 先生からの紹介  | 6      |
| 大学の講義・授業 | 2      |



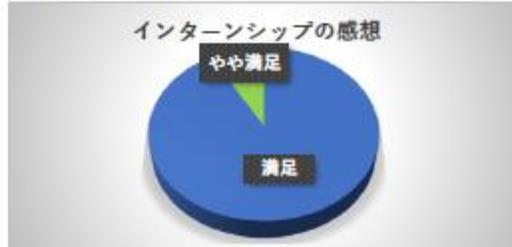
## Q2「福祉のしごとインターンシップ」の参加を決めた理由

|             |        |
|-------------|--------|
| 福祉の仕事に就きたい  | 11 (人) |
| 福祉の仕事に関心がある | 10     |
| 授業の一環として    | 2      |
| 知識・技術を学びたい  | 1      |



## Q3「福祉のしごとインターンシップ」に参加していかがでしたか？

|           |        |
|-----------|--------|
| 満足        | 22 (人) |
| やや満足      | 2      |
| どちらともいえない | 0      |
| やや不満      | 0      |
| 不満        | 0      |



## 上記（Q3）のように感じた理由

- 他では経験できないことを学べたから。
- 子どもたちとの関わりなど、普段できない貴重な経験ができたから。
- 参加しないと感ずることの出来ない、大変さ、達成感を学ぶことができたから。
- 学校では学べないことを学べたり、体験できないことを体験することが出来たから。
- 就労継続支援について学べたから。
- 新しい知識を得ることが出来た。
- 実際に体験しないとわからなかったことがたくさんあり非常に勉強になったから。
- 様々な障害を持った方がいることを知れたから。
- 視野が広がり、楽しみながら体験できたため。
- インターンシップ先の施設でのソーシャルワーカーの仕事を知ることができたから。
- 敬語の使い方や、年上の方への接し方、自分が高齢者に対して偏見をもっていたなあと気づくことができたから。
- いい経験になりました。
- 普段では出来ないことをたくさん体験させていただけたからです。
- インターンの参加で、学ぶことが多くあり、今まで以上に福祉専門職になりたいという思いが強くなったから。
- 自分の中にある福祉に対する偏見を無くすことができたり、周りを見て動くことができたり、何より高齢者の方々との触れ合いの場を設けて頂けてとても有意義な時間を過ごすことができたからです。
- 今まで知らなかった事を学べた。
- インターネットだけでは分からない様々なことを身をもって学べたからです。
- 高齢者の方々と関わることがとても楽しかったし、福祉の仕事についてたくさんのことを学ぶことができたから。
- 普通の高校生活では体験できない福祉の仕事を経験することができ、仕事内容やどんな方が使われているかなどを学ぶことができたから。
- 現場で様々な業務を経験することができたから。施設の方がインターンシップや実習の受け入れに慣れており、個々の学生に合わせたプログラムを組んでくださったから。
- 楽しかったから。実際に体験してみて福祉の仕事についてより理解が深まったから。
- 福祉の仕事について曖昧だったイメージが、明確になった。

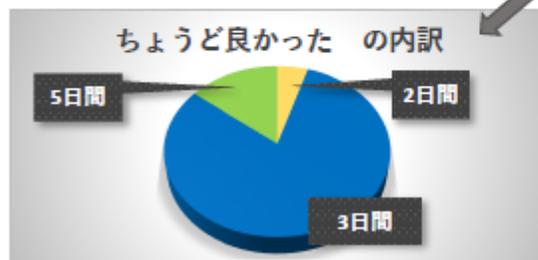
◇ 回答者の体験日数

|     |     |
|-----|-----|
| 2日間 | 2人  |
| 3日間 | 19人 |
| 5日間 | 3人  |



Q4 体験日数についての感想

|          |     |
|----------|-----|
| ちょうど良かった | 21人 |
| 短かった     | 2人  |
| 長かった     | 1人  |



| ちょうど良かったの内訳 |     |
|-------------|-----|
| 2日間         | 1人  |
| 3日間         | 17人 |
| 5日間         | 3人  |

長かったの内訳

|     |    |
|-----|----|
| 3日間 | 1人 |
|-----|----|

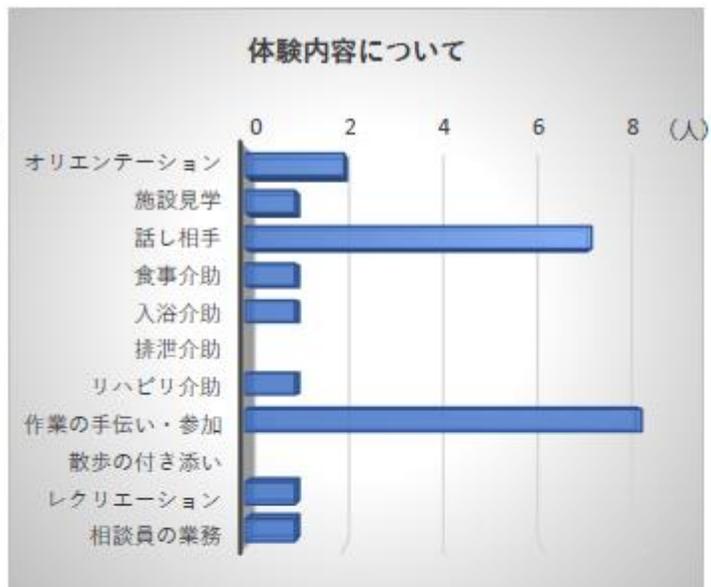
短かったの内訳

|     |    |
|-----|----|
| 2日間 | 1人 |
| 3日間 | 1人 |

◆体験内容について

| 体験内容      | 人数    |
|-----------|-------|
| オリエンテーション | 2 (人) |
| 施設見学      | 1     |
| 話し相手      | 7     |
| 食事介助      | 1     |
| 入浴介助      | 1     |
| 排泄介助      |       |
| リハビリ介助    | 1     |
| 作業の手伝い・参加 | 8     |
| 散歩の付き添い   |       |
| レクリエーション  | 1     |
| 相談員の業務    | 1     |

※1名 入力なし



Q6 福祉のしごとについて

|             |      |
|-------------|------|
| 魅力ややりがいを感じた | 18 人 |
| 大変だと思った     | 4 人  |
| 就きたいと思った    | 1 人  |

※1名 入力なし

